



いつもお世話になっております。今月号の事務所だよりをお届けしますので、ご査収下さいますようお願い申し上げます。

## GDPの速報値と日本の景気？

内閣府が2月17日発表した2019年10～12月期の国内総生産(GDP、季節調整値)の速報値は、物価の変動を除いた実質で前期比1.6%減、年換算でマイナス6.3%と5四半期ぶりにマイナスとなりました。

昨年10月の消費税率引き上げで個人消費が低迷したとコメントされています。

### 1. 過去にGDP速報値の落ち込んだ時期

- ① 1974年1-3月期(第1次石油危機により日本経済が大きく落ち込み) **マイナス13.1%**
- ② 2008年10-12月期の実質GDP成長率は年率**マイナス14.4%**、2009年1-3月期は、それを更新して戦後最大の減少となる年率**マイナス15.2%**  
これは2008年9月15日に、アメリカ合衆国の投資銀行であるリーマン・ブラザーズ・ホールディングスが経営破綻したことに端を発したリーマン・ショック時の数値です。
- ③ 2011年1～3月期(東日本大震災時)の**マイナス6.7%**
- ④ 2014年4～6月期(消費税増税5%から8%) **マイナス7.1%**この時の3%に対し今回は2%の増税

● 四半期実質国内総生産 (GDP、速報値) 重要度:

[年率換算]

2020年2月17日 08:50 米ドル/円 変動幅 -0.045円  
(次回----年--月--日発表予定)

結果: **-6.3%** 予想: **-3.7%** 前回: **1.8%**



### 2. GDPとは

①名目GDPとは、国内で一定期間内に生産されたモノやサービスの付加価値の合計額を表わす指標です。

その年に生産された財やサービスについて、それぞれの付加価値を足し合わせて算出します。

②実質GDPとは、国内で一定期間内に生産されたモノやサービスの付加価値の合計額を表わす指標ですが、物価変動の影響を取り除いて、その年に生産されたモノやサービスの「本当の価値」を算出したものです。

言い換えれば、名目GDPから「物価変動の影響」を除いたのが実質GDPになります。

例えば、ある年に、100円のコーラを10本販売したとします。この場合のこの年のGDPは、100円×10本=1,000円となります。では、翌年に、コーラの値段を100円から110円に値上げして10本販売したらどうなるでしょうか。

名目GDPは、110円×10本=1,100円と算出しますが、実質GDPの計算では10円の値上げ分は考慮されないため、実質GDPは昨年と同じく1,000円となります。当然消費税の増税分の影響も加味されません。

一国の経済の成長を測る際は、一般的には実質GDPを重視すると言われています。

### 3. 2020年1～3月期はどうなるでしょうか？

私も、コロナウィルスによる生産、消費の落ち込みはかなりのものと考えています、場合によってはリーマン級の指標が出てもおかしくないかもしれませんね。